

# 出光

この出張授業は「セーフティードライブ」をテーマに事故のない車社会を目指し、充実したカーライフを送るよう取り組んでいる出光興産の活動の一環です。



レーシングドライバーとして活躍していた太田哲也さんは、15年前にレース中事故に巻き込まれ、瀕死の重傷を負いました。しかし23回に渡る火傷治療の手術とリハビリで再びサーキットに復帰。その体験を全国の中学校で語る出張授業「夢を実現するために チャレンジ」が今年も実施されました。



レーシングドライバー  
太田哲也さんからのメッセージ  
「夢を持って生きよう」



多くの経験や  
出会いが夢を育て  
実現するチカラになる



## チャンスを掴もう

夢を実現する方法を1つ教えます。それはチャンスを逃さないこと。チャンスとは、新しい体験や出会いです。普段の授業はもちろん学校行事、部活動や友人からの誘い、新しい経験や知識を得る機会は、自分が望めば沢山あります。そのチャンスを掴んでいくようにチャレンジを続けていくと、次第に自分の世界が広がり、夢が見つかり、夢を実現する道も見えてくる。結果ではなくその過程が大切なのです。

## 輝くダイヤになろう

人は経験や新しいものの見方を知って成長します。だから恥ずかしがったり面倒くさがったりして折角のチャンスを逃さないでください。みんなはダイヤの原石です。辛いことや悩みも、自分を磨く試練です。色々なことを経験し、試練にも立ち向かい、光り輝くダイヤになってください。一人ひとりが自分の人生の主役であることを忘れないでください。



## 諦めないで生きる

身体機能を取り戻すリハビリを何度もして、遂には車の運転もできるようなりました。その後は本を書いたり、講演、モータースポーツ活動、自動車評論家など色々な仕事に挑戦してきました。生きることを諦めないで、再び夢を持って進んできたから今の僕があります。



## 出光セーフティードライブ

### 事故のないクルマ社会を目指して

太田さんは講演の最後に交通安全の呼びかけもしています。車の安全性能が上がった一方で、近年は歩行者の不注意による事故が多くなっています。横断歩道を渡る時、自分の目でしっかり安全を確かめてから渡り、クルマを嫌いにならないでほしいと伝えました。



太田 哲也(おおたてつや)

1959年11月6日生まれ。自動車評論家・レーシングドライバー。4年連続フェラーリでル・マン24時間レースに出場。日本一のフェラーリ遣いの異名をとる。1998年全日本GT選手権で事故に巻き込まれ瀕死の重傷を負い、再起不能といわれながら、23回の手術とリハビリを繰り返し、事故から2年半後にサーキットに復帰した。復活までを自らがつづった著作『クラッシュ』『リバース』は、スポーツドキュメントとしては異例のベストセラーになり映画化もされる。現在は自動車評論家として多数の連載をもつ。2005年6月に出版した『生き方ナビ』は、学生、教育関係者から絶大な支持を集め、小中高で総合学習の教材としても使われている。ライフワークとして若い世代に「チャレンジする素晴らしさ」を伝える社会貢献活動「KEEP ON RACING」(ホームページhttp://www.keep-on-racing.com)も主宰。

主催 / 朝日中学生ウイークリー 朝日小学生新聞 共催 / 出光興産株式会社

兵庫県明石市立魚住中学校 全校生徒880人



新潟県魚沼市立堀之内中学校 全校生徒243人



2つの中学校の生徒全員に、夢を実現するためにチャレンジしていく講義を聞いた証として「修了証」が手渡されました。